障がい等のある方への受験上の配慮について　【団体申込用】

実用英語技能検定（英検）では障がい等のある方に受験上の配慮を講じています。このページをご確認のうえ、必ず回次ごとに受験上の配慮申請受付期間内に申請をしてください。

受験上の配慮係　　TEL: 03-3266-6507
お問い合わせ時間　　9:30～17:00（土・日・祝日を除く）

⚠ 必ずお読みください　受験上の配慮申請時の注意点 ① ⚠

- **車いすの使用や発話への配慮など、二次試験のみ受験上の配慮対応が必要な場合でも受験上の配慮申請受付期間内に申請を行ってください。**
- **受験上の配慮申請受付期間を過ぎてからの申請および申請内容の変更・追加はできません。**
- **障害者手帳・医師による診断書・状況報告書など、障がいの状況を証明できる書類を添付のうえご申請ください。**
  （車いす使用等　下肢障がいのみで申請する場合は書類は不要です）
- **一次試験準会場実施の受験上の配慮対応は、D日程・E日程・F日程です。**（E日程は一部配慮のみ対応可 ▶P.6）
  また、複数日程での実施はできません。
- **受験上の配慮申請をされた方の二次試験はA日程での受験となります。日程変更はできません。**
- **受験上の配慮申請内容により、希望受験地と異なる会場を指定する場合があります。また、試験会場の指定はできかねます。**

受 験 上 の 配 慮 要 項

2026年度第3回　受験上の配慮申請受付期間・試験日程

受験上の配慮申請受付期間（団体申込）

10 月 23 日（金）～ 12 月 7 日（月）

【注意】英検申込受付期間より約一週間前倒しにしています

※ 英検申込受付期間 10月30日（金）～ 12月14日（月）に別途英検のお申し込みが必要です。

一次試験	**2027年 1 月 22 日（金）準会場 D日程** **1 月 23 日（土）準会場 E日程** **1 月 24 日（日）本会場・準会場 F日程**
二次試験（A日程のみ）	**2027年 2 月 28 日（日）**

- **E日程（土）実施では、対応可能な受験上の配慮は一部に限られます。詳しくはP.6をご確認ください。**

※ 特別支援学校で準会場実施をする場合は、受験者数に関わらず実施が可能です。ただし、9名以下の場合は準会場実施経費を差し引くことはできません。
※ 二次試験のみ受験上の配慮が必要で、一次試験の配慮対応が不要な方は、一次試験実施曜日に制限はありません。申請フォームの特記事項欄に「一次試験配慮不要のため一次試験をA日程（またはB日程・C日程）で実施」と入力し、申請してください。
※ 一般受験者受け入れ団体で受験する場合は、団体責任者様に配慮受験対応の可否をご確認のうえ、申請してください。

受験上の配慮申請時の注意点 ②

- 受験上の配慮申請フォーム（▶P.9）より申請していただきます。
- 障がいの状況を証明できる書類（障害者手帳、医師による診断書、状況報告書など）を添付する際は、スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影、またはスキャナーで画像取り込みを行うなどして画像（PDF/jpeg/PNG等）をご用意ください。
- ダブル受験および同一検定回で同一級のお申し込み（重願）をする場合は、それぞれの受験級で申請が必要です。
- 障害程度等級の有無などにより、申請できる受験上の配慮の内容が異なります。P.4受験上の配慮対応一覧をご確認のうえ、申請してください。
- タブレット解答希望者は、回次ごとに同意書の提出が必要です。受験上の配慮係より同意書をお送りしますので、申請前に必ずご連絡ください。
- 試験監督者は移動や試験の補助のみ行います。トイレや体位固定などに介助が必要な方は、介助者をご自身で確保し、申請してください。
- 机のサイズや会場設備の指定はできません。試験会場の机をご使用いただくか、机をご持参ください。
- 点字盤・拡大読書器・車いす等の配慮受験に必要な機器の貸し出しはありません。（タブレットを除く）
- 「乗用車での来場」は、原則として肢体不自由のため移動に配慮が必要な方が対象となります。また、駐車場設置の状況により希望受験地と異なる会場をご案内することがあります。
- 多目的トイレのある会場を希望する場合は、特記事項欄にご入力ください。その場合、会場の状況により希望受験地と異なる会場をご案内することがあります。
- 海外の会場で受験上の配慮受験をご希望の方は、必ず申込開始から2週間以内にお問い合わせフォームよりご連絡ください。
- 受験上の配慮申請期間内の配慮内容変更・再申請の場合は、特記事項に必ず【再申請】とご入力ください。

2026年度試験日程

第1回検定	
受験上の配慮申請受付期間	3 月 16 日（月）～ 4 月 21 日（火）
一次試験	2026 年 5 月 29 日（金） 準会場 D日程 5 月 30 日（土） 準会場 E日程 5 月 31 日（日）本会場・準会場 F日程
二次試験（A日程のみ）	2026 年 7 月 5 日（日）
第2回検定	
受験上の配慮申請受付期間	6 月 23 日（火）～ 8 月 28 日（金）
一次試験	10 月 2 日（金） 準会場 D日程 10 月 3 日（土） 準会場 E日程 10 月 4 日（日） 本会場・準会場 F日程
二次試験（A日程のみ）	11 月 8 日 （日）
第3回検定	
受験上の配慮申請受付期間	**10 月 23 日（金）～ 12 月 7 日（月）** **※ 英検申込受付期間 10月30日（金）～ 12月14日（月）に別途英検のお申し込みが必要です。**
一次試験	**2027 年1 月 22 日（金） 準会場 D日程** **1 月 23 日（土） 準会場 E日程** **1 月 24 日（日） 本会場・準会場 F日程**
二次試験（A日程のみ）	**2 月 28 日 （日）**

● **E日程（土）実施では、対応可能な受験上の配慮は一部に限られます。詳しくはP.6をご確認ください。**

点字による受験上の配慮について

- 点字機器は、原則として点字盤の使用を推奨しますが、パーキンスの使用も可能です。（いずれも受験者が持参してください）
- 出題は4級・5級では1級点字（フルスペル）、3級より上位級では2級点字（縮約使用）とします。
- 原則として、現在使用されている特別支援学校中学部英語点字教科書や高等部の点字英語教科書（2017年度以降の改訂版）で導入されたUEBを使用しています。ただし、ライティングの解答については旧点字表記であっても構いません。

受験上の配慮申請から試験までの流れ

⚠ **二次試験のみ受験上の配慮対応が必要な場合でも受験上の配慮申請受付期間内に申請が必要です。** ⚠

受験申込・受験上の配慮申請

受験上の配慮申請後、ご提出いただいた内容を記載した自動送信メールが届きますので、大切に保管をしてください。
協会にて申請内容を確認・審査し、不備等がある場合のみご連絡いたします。

受験上の配慮　対応内容決定

本会場受験

● **一次受験票の受領・配布**
● **総合案内で提示する「総合案内提示用の手紙（受験上の配慮対応と当日のお申し出）」の受領・配布**

- 一次受験票と、試験当日に総合案内で提示する「総合案内提示用の手紙（受験上の配慮対応と当日のお申し出）」がそれぞれ別送で届きますのでご確認ください。「総合案内提示用の手紙（受験上の配慮対応と当日のお申し出）」は黄色い用紙に印刷されています。
- 試験日の5日前までに申込団体宛に到着するようお送りします。
- 申請された受験上の配慮の対応が可能な会場をご案内します。
- 受験上の配慮申請内容により希望受験地と異なる会場を指定する場合があります。また、試験会場の指定はできかねます。

準会場受験

● **受験上の配慮資材の受領（一次試験実施3日前まで）**

- **通常の試験資材とは別送で受験上の配慮資材が届きます。**
- 「強音放送」「座席配置」「一般と同一（下肢不自由・養護）」「別室受験（養護）」を申請した場合、配慮資材の送付はありません。
- 「強音放送」「別室受験」を申請した場合、CDに不足がないかご確認いただき、3セット以上必要な場合はご注文手続きを行ってください。
- 延長用CDのリスニング音源データはございません。配慮資材で送付されたCDをご使用ください。

一次試験

本会場受験

「総合案内提示用の手紙（受験上の配慮対応と当日のお申し出）」を総合案内で提示し、受験上の配慮申請者である旨を必ず申し出てください。
※ 総合案内にお申し出がなかった場合は一般の受験者と同様の受験となり、一切の対応を行いません。
※ 顔写真付きの障害者手帳は協会が定める「顔写真付き身分証明書」として有効です。ただし、原本かつ有効期限内のもので、顔写真が本人と照合可能な場合に限ります。

準会場受験

● **試験実施**
- 受験上の配慮資材を使用して実施する場合は、受験上の配慮資材に同梱する各種「受験上の配慮準会場実施マニュアル」に従って実施してください。

● **答案返送**
- **受験者がマークシート以外の解答方法で解答した場合は、解答をマークシートに転記したうえで、一般受験者の答案とあわせて返送してください。答案原本は、団体様で保管してください。**

一次試験合否結果公開後

● **二次受験票の受領・配布**（1級～3級の一次試験合格者および一次試験免除者のみ）
● **受付で提示する「受付提示用の手紙（受験上の配慮対応と当日のお申し出）」の受領・配布**

- 二次受験票と、試験当日に受付で提示する「受付提示用の手紙（受験上の配慮対応と当日のお申し出）」がそれぞれ別送で届きますのでご確認ください。「受付提示用の手紙（受験上の配慮対応と当日のお申し出）」は黄色い用紙に印刷されています。
- 試験日の5日前までに申込団体宛に到着するようお送りします。

※ 郵送事情等により、到着が遅れる可能性もございます。試験日の3日前になっても総合案内提示用の手紙が届かない場合は、受験上の配慮係（03-3266-6507）までお問い合わせください。

- 申請された受験上の配慮の対応が可能な会場をご案内します。
- 受験上の配慮申請内容により希望受験地と異なる会場を指定する場合があります。また、試験会場の指定はできかねます。

二次試験【A日程のみ】

「受付提示用の手紙（受験上の配慮対応と当日のお申し出）」を受付で提示し、受験上の配慮申請者である旨を必ず申し出てください。
※ 受付にお申し出がなかった場合は一般の受験者と同様の受験となり、一切の対応を行いません。
※ 顔写真付きの障害者手帳は協会が定める「顔写真付き身分証明書」として有効です。ただし、原本かつ有効期限内のもので、顔写真が本人と照合可能な場合に限ります。

- 受験上の配慮を申請した受験者の二次試験はA日程のみとなり、日程変更はできません。また、二次試験で配慮申請を取り下げてB日程に変更することもできません。
- 受験上の配慮を申請した受験者はすべて「優先受験」となります。受付で受験上の配慮申請者である旨を申し出た後は、直接面接室の受験者待機席に誘導し、優先的に面接を行います。
- 受験上の配慮を申請した受験者の集合時間は、【午前】準1級・準2級、【午後】1級・2級・準2級プラス・3級です。

受験上の配慮対応一覧

障がい区分	対象者区分	一次試験 配慮内容	一次試験 試験教室	一次試験 試験時間	二次試験（1～3級のみ） 配慮内容	二次試験（1～3級のみ） 試験時間	許可事項
視覚	障害等級が6級程度より重度の視覚に障がい等のある方	**点字** 点字の問題冊子を使用して受験し、点字用解答用紙に解答します。 3級～5級のリスニング第1部と5級の第3部ではイラストを用いず、イラストの日本語説明文に置き換えます。	別室	1.5倍	**点字** 点字の問題カードを使用して受験します。 イラストについては、イラスト説明文で代用します。	黙読時間・考慮時間の延長（級により異なる）	●点字盤の持参使用 ●パーキンスの持参使用 ●ルーペ・携帯型拡大読書器の持参使用 ●拡大読書器の持参使用 ●照明機器の持参使用 ●介助者の同伴*1（試験中は除く）
		拡大墨字A3 弱視用のA3問題冊子（25Pゴシック体文字）を使用して受験し、同サイズの文字解答用紙に書き込む方法です。 3級～5級のリスニング第1部ではイラストを用いず、イラストの日本語説明文に置き換えます。			**拡大墨字A3** 弱視用のA3問題カード（25Pゴシック体文字）を使用して受験します。 イラストにはイラスト説明文が付記されています。		
		普通墨字A4 弱視用のA4問題冊子（18Pゴシック体文字）を使用して受験し、同サイズの文字解答用紙に書き込む方法です。 3級～5級のリスニング第1部ではイラストを用いず、イラストの日本語説明文に置き換えます。			**普通墨字A4** 弱視用のA4問題カード（18Pゴシック体文字）を使用して受験します。 イラストにはイラスト説明文が付記されています。		
		一般墨字A4（拡大読書器使用） 一般問題冊子の片面コピー（A4）を拡大読書器で拡大して受験します。 解答は直接問題に○つけ、または記入して提出します。			**普通墨字A4（拡大読書器使用）** 弱視用のA4問題カード（18Pゴシック体文字）を拡大読書器で拡大して受験します。イラストにはイラスト説明文が付記されています。 事前に機械の設置が必要なため、別室での受験になります。		
	上記以外の視覚に障がい等のある方	**文字による解答A4** 他の受験者と同様、一般問題冊子（A4）を使用して受験しますが、解答用紙はマークシートではなく文字解答用紙を使用します。	一般同室	通常	**優先受験** 受験者の不自由の度合いを考慮して、あらかじめ受験者情報を印字した面接カードを用意し、直接面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう配慮です。	通常	
聴覚	障害等級が6級程度より重度の聴覚に障がい等のある方	**テロップ** リスニングテストを音声でなく文字をモニターに映し代替とします。 音声は流れません。	別室	リスニング放送（CD）の1.5～2倍	**筆談（音読を口話で実施）** 面接委員からの指示や質問はフラッシュカード（FC）で示されます。 受験者は、FCを見て質問に対する応答を英文で書いて答えます。 2級～3級のパッセージ音読は口頭で行います。	筆談記入・フラッシュカード提示のため通常時間より長くなる	● 補聴器等の使用 ● ロジャーマイク・マイク付補聴器の使用*2 ● 介助者の同伴*1（試験中は除く）
					筆談（音読を筆談で実施） 面接委員からの指示や質問はフラッシュカード（FC）で示されます。 受験者は、FCを見て質問に対する応答を英文で書いて答えます。 2級～3級のパッセージ音読は筆談で行います。		
		強音放送 リスニングテストを別室にてボリュームを上げて聞きます。		通常	**FC+口話** 面接委員からの指示や質問はフラッシュカード（FC）で示されます。 受験者は、FCを見て質問に対する応答を口頭で行います。	フラッシュカード提示のため通常時間より長くなる	
	上記以外の聴覚に障がい等のある方	**座席配置** スピーカー近くに座席を配席して受験します。	一般同室		**口話** 通常通りの面接を行いますが、面接委員からの質問や指示は、聞こえの状態に合わせて、ゆっくりはっきり大きめの声で行います。	通常	
肢体不自由	障害等級が4級程度より重度の上肢に障がい等のある方	**チェック解答（時間延長あり）** 上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○つけ、または記入して提出します。3級以上のライティングは自書します。 問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）*3 と普通（A4）の二種類あります。	別室	1.5倍	**優先受験** 受験者の不自由の度合いを考慮して、あらかじめ受験者情報を印字した面接カードを用意し、直接面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう配慮です。	通常	● 介助者の同伴*1（試験中は除く） ● 机の持参使用
		タブレット解答（1級～3級、時間延長あり） 上肢が不自由なため解答の自書ができない場合、協会が準備するタブレットにスクリーンキーボードを用いて入力をして解答をすることなどができます。 タブレット解答には事前に同意書の提出および審査が必要です。問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）*3 と普通（A4）の二種類あります。**※回次ごとに同意書の提出が必要です。受験上の配慮係より 同意書をお送りしますので、申請前に必ずお電話にてご連絡ください。受験上の配慮係（03-3266-6507）**					
		口述解答（代筆）（4級・5級のみ） 上肢が不自由なため自力での解答が困難な場合に受験者が口述した解答の選択肢№を、監督者がマークシートに転記する解答方法です。 一般問題冊子（A4）を使用しての受験になります。		通常			
	上記以外の上肢に障がい等のある方	**チェック解答（時間延長なし）** 上肢が不自由なためマークシートではなく問題冊子に直接○つけ、または記入して提出します。3級以上のライティングは自書します。 問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）*3 と普通（A4）の二種類あります。	一般同室				
	下肢に障がい等のある方	**一般と同一** 試験会場内での移動や座席の配置等に配慮が必要です。 会場設備により誘導・座席配置・別室受験などを設定します。	一般同室または別室		**優先受験（誘導・面接室の設置配慮）** 受験者の不自由の度合いを考慮して、あらかじめ受験者情報を印字した面接カードを用意し、直接面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう配慮です。 試験会場内での移動や面接室の配置等に配慮が必要なため、会場設備により誘導・別室受験（1階に設置）などを設定します。		● 車いすの持参使用 ● 乗用車での来場 ● 介助者の同伴*1（試験中は除く） ● 机の持参使用
養護	音声言語障がい（吃音症・器質性・運動障がい性・その他）等のある方	**通常受験** 一次試験については、発話を必要としないため、音声言語障がいの方への配慮は不要となります。	一般同室	通常	**筆談（音読を口話で実施）★**^{*4} Q&Aについて質問に対する応答を英文で書いて答えます。 2級～3級のパッセージ音読は口頭で行います。	筆談記入のため通常時間より長くなる	● 介助者の同伴*1（試験中は除く） ● 机の持参使用
					筆談（音読を筆談で実施）★^{*4} Q&Aについて質問に対する応答を英文で書いて答えます。 2級～3級のパッセージ音読は筆談で行います。		
					発話への配慮 ★^{*4} 話がつまる、大きな声が出ないなどの状況を面接委員に伝え、注意深く受験者の発話を聞く、受験者の発話が止まってしまっても解答を促すような声掛けを行わずに制限時間まで待つ、受験者に大きな発声を促さない等の配慮をします。	通常	
	病弱	**一般と同一／別室受験 ★**^{*4} 受験者の状況により、誘導・試験教室の配慮、座席配置、別室の準備等の配慮を行います。	一般同室または別室		**優先受験 ★**^{*4} 受験者の不自由の度合いを考慮して、あらかじめ受験者情報を印字した面接カードを用意し、直接面接室に誘導し、優先的に面接を受けてもらう配慮です。		● 介助者の同伴*1（試験中は除く） ● 机の持参使用
	発達障がい	**一般と同一／別室受験 ★**^{*4} 受験者の状況により、誘導・試験教室の配慮、座席配置、別室の準備等の配慮を行います。					
		チェック解答（時間延長なし）★^{*4} 読み・書きに困難があるためマークシートではなく問題冊子に直接○つけ、または記入して提出します。3級以上のライティングは自書します。 問題冊子は事前申告にあわせ、拡大（A3）*3 と普通（A4）の二種類あります。					
	その他	**一般と同一／別室受験 ★**^{*4} 受験者の状況により、誘導・試験教室の配慮、座席配置、別室の準備等の配慮を行います。					

*1 一次試験は、試験開始５分前まで同伴可能です。試験開始5分前から試験終了までは、原則として試験教室での同伴・待機はできません。
二次試験は、面接室前まで同伴可能です。面接中は、原則として面接室での同伴・待機はできません。
*2 一次試験は、マイクをCDプレーヤーのスピーカー近くに置いて使用します。二次試験は、マイクを面接委員に渡して面接を行います。マイク付補聴器には、ワイヤレスマイク補聴器・FM型補聴器を含みます。
*3 一般問題冊子（A4）をA3サイズに拡大したものを使用します。
*4 ★マークがついている配慮は、配慮が必要な理由が書かれている診断書または状況報告書などをウェブサイト上の申請フォームに添付することが必要です。障害者手帳を持っている場合は、障害者手帳の添付も必須です。
配慮の適用可否は、審査のうえ判断します。診断書と状況報告書等の書き方は、P.7をご確認ください。
※ 受験上の配慮申請受付開始日から遡って1年以内に発行された診断書が有効書類となります。(P.8)

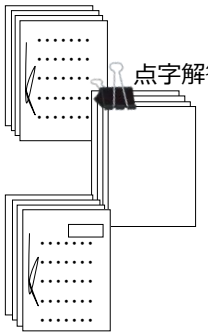
一次試験受験上の配慮資材イメージ

【視覚】 資材イメージ

点字

- 問題冊子と受験者心得は紐でまとめられている
- 受験者心得は5枚目まで
- 点字用解答用紙は問題冊子と受験者心得の間に挟んである白紙

点字問題冊子

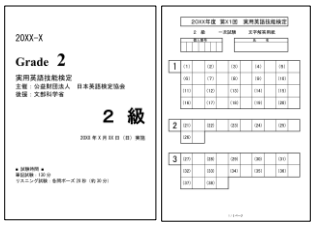


点字解答用紙

点字受験者心得

拡大墨字A3／普通墨字A4

- 解答用紙のサイズは問題冊子と同じ



拡大墨字A3
問題冊子・文字解答用紙



普通墨字A4
問題冊子・文字解答用紙

一般墨字A4
（拡大読書器使用）

- 一般問題冊子の片面コピーを使用
- 問題冊子の選択肢に○つけまたは記入で解答
- 3級以上はライティングA4解答用紙が別途ある



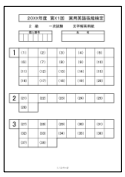
一般墨字A4問題冊子兼解答用紙



ライティングA4解答用紙

文字による解答A4

- A4サイズの解答用紙
- 問題冊子は一般問題冊子を使用

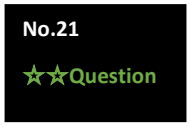


文字による解答A4解答用紙

【聴覚】 資材イメージ

テロップ

- DVDソフトを使用
- リスニングテストの内容が画面に文字で表示される
- 音声は流れない



テロップ
画面イメージ

文字の流れる方向

強音放送

通常と同じ

座席配置

通常と同じ

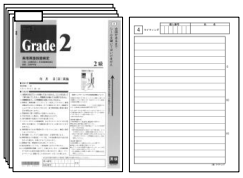
【肢体不自由】【養護】 資材イメージ

チェック解答
（時間延長あり／時間延長なし）

- 一般問題冊子の片面コピーを使用
- 問題冊子の選択肢に○つけまたは記入で解答
- 3級以上はライティング解答用紙が別途ある



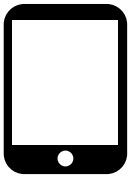
チェック解答A3　問題冊子兼解答用紙・
ライティング解答用紙



チェック解答A4　問題冊子兼解答用紙・
ライティング解答用紙

タブレット解答
（肢体不自由のみ）

- 協会が準備するタブレットを使用



タブレット

口述解答（代筆）
（4級・5級のみ）

通常と同じ

別室受験

通常と同じ

一般と同一

通常と同じ

※ 受験上の配慮資材の事前のサンプル提供はできかねます。
※ 延長用CDのリスニング音源データはございません。配慮資材で送付されたCDをご使用ください。
※ 二次試験受験上の配慮資材イメージの提供はありません。

【一次試験】実施曜日と会場ごとの対応可否一覧

● 表中の日程に「×」が付いている受験上の配慮は、対応ができません。

種別		受験上の配慮の内容	教室	時間延長	準会場 D日程（金）	準会場 E日程（土）	本会場・準会場 F日程（日）
視覚		点字	別室	1.5倍	○	×	○
		拡大墨字A3	別室	1.5倍	○	×	○
		普通墨字A4	別室	1.5倍	○	×	○
		一般墨字A4（拡大読書器使用）	別室	1.5倍	○	×	○
		文字による解答A4	一般同室	通常	○	○	○
聴覚		テロップ	別室	リスニング 放送（CD） の1.5～2倍	○	×	○
		強音放送	別室	通常	○	○	○
		座席配置	一般同室	通常	○	○	○
肢体不自由		チェック解答（A3／A4）	別室	1.5倍	○	×	○
			一般同室	通常	○	○	○
		タブレット解答（1～3級） ※回次ごとに同意書の提出が必要です。 受験上の配慮係より同意書をお送りしますので、 申請前に必ずお電話にてご連絡ください。 受験上の配慮係（03-3266-6507）	別室	1.5倍	○	×	○
		口述解答（代筆） （4級・5級のみ）	別室	通常	○	○	○
		一般と同一（下肢障がい・車いす）	一般同室 （原則）	通常	○	○	○
養護	病弱	一般と同一 （誘導・試験教室の配慮、座席配置など）	一般同室	通常	○	○	○
		別室受験★	別室	通常	○	○	○
	発達障がい	一般と同一 （誘導・試験教室の配慮、座席配置など）	一般同室	通常	○	○	○
		別室受験★	別室	通常	○	○	○
		チェック解答（A3／A4）★	一般同室	通常	○	○	○
	その他	一般と同一 （誘導・試験教室の配慮、座席配置など）	一般同室	通常	○	○	○
		別室受験★	別室	通常	○	○	○

- 一次試験準会場実施の受験上の配慮で受験可能な日程は、D日程・E日程・F日程です（E日程は一部配慮のみ）。複数日程での実施はできません。
- 二次試験のみ受験上の配慮が必要で、一次試験の配慮対応が不要な方は、一次試験実施曜日に制限はありません。申請フォームの特記事項に「一次試験配慮不要のため一次試験をA日程（またはB日程・C日程）で実施」と入力し、申請してください。
- 一般受験者受け入れ団体で受験する場合は、団体責任者様に配慮受験対応の可否をご確認のうえ、申請してください。
- ★マークがついている配慮は、配慮が必要な理由が書かれている診断書または状況報告書等の申請フォームへの添付が必須です。障害者手帳を持っている場合は、障害者手帳の添付も必須です。配慮の適用可否は、審査のうえ判断します。診断書と状況報告書等の書き方は、P.8をご確認ください。
- 受験上の配慮申請受付開始日から遡って1年以内に発行された診断書が有効書類となります。

障がいの状況を証明できる書類について（１／２）

受験上の配慮申請の際にご提出いただく障害者手帳・ 医師による診断書・状況報告書等は、希望の配慮内容により必要な書類が異なります。
以下をご確認いただき、スキャン・写真撮影等で必要な書類の画像を用意したうえで申請してください。

障害者手帳を持っている

障害者手帳を持っていない

・ 申請内容により、追加書類の提出をお願いする場合があります。
・ 障がいの状況を証明できる書類は、記載内容が鮮明に確認できるものをご用意ください。

配慮申請内容が
【視覚】
【聴覚】
【肢体不自由】（下肢不自由をのぞく）

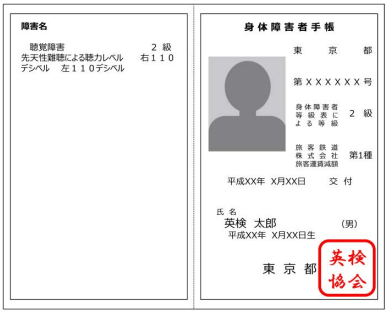
配慮申請内容が
【養護】

P.4「受験上の配慮対応一覧」の
希望する配慮内容の項目に
★がついている

NO

YES

障害者手帳
※カード型を含む



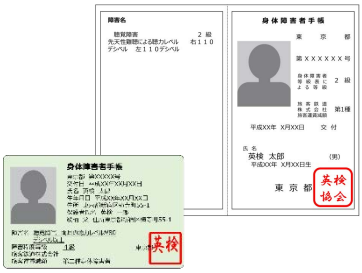


を添付のうえ
P.4「受験上の配慮対応一覧」の

【視覚】すべての配慮
【聴覚】すべての配慮
【肢体不自由】
・ 4級程度より重度の上肢障がいがある
→すべての配慮
・ その他の上肢障がいがある
→チェック解答（時間延長なし）／優先受験
【養護】一般と同一／優先受験

から申請してください。

障害者手帳
※カード型を含む



と

P.7の「必要項目」が書いてある
診断書 または 状況報告書



を添付のうえ申請してください。

P.7の「必要項目」が書いてある
診断書 または 状況報告書



を添付のうえ
P.4「受験上の配慮対応一覧」の

【視覚】文字による解答A4／優先受験
【聴覚】座席配置／口話
【肢体不自由】チェック解答（時間延長なし）／優先受験
【養護】すべての配慮

から申請してください。
（障害者手帳を持っている方向けの配慮申請をすることはできません。）

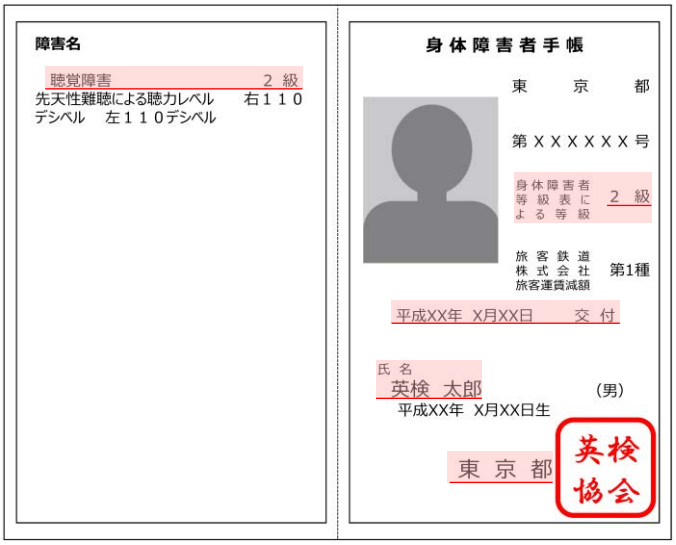
※ 上記以外の書類の提出を考えている方・希望する配慮が受験上の配慮対応一覧のどれに当てはまるか分からない方は受験上の配慮係にお問い合わせください。

障がいの状況を証明できる書類について（２／２）

受験上の配慮申請の際に、障害者手帳・医師による診断書・状況報告書等の画像データの添付が必要です。 PDF/jpeg/PNG等の画像データ（5MB以内）を添付して申請してください。該当する書類の必要項目を以下から確認し、ご用意ください。
注1）障がいの状況を証明できる書類は、記載内容が鮮明に確認できるものをご用意ください。
注2）ExcelやWordなど、編集可能なファイルは受付できません。必ず画像データにして申請してください。
注3）各書類の「必要項目」すべてを確認できない場合は受付できません。また、画像データは複数枚になっても問題ありません。
注4）以下の資料のみでは受付できかねます。別途、受験上の配慮が必要な理由の根拠となる資料のご提出が必要となります。
健康診断書／検査結果／領収証（医療費明細書）／母子手帳／特定医療費受給者証／リハビリテーション計画書　など

【障害者手帳を添付する方へ】▶

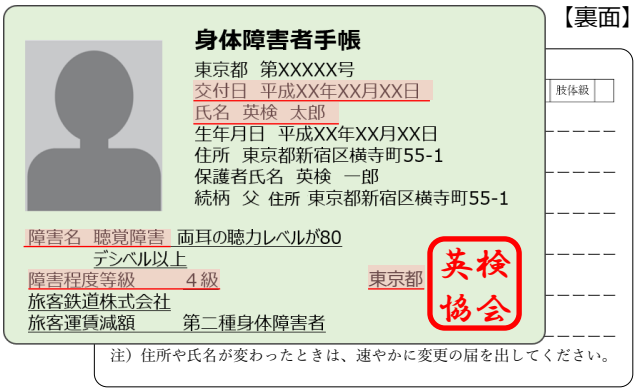
【必須】 必要項目すべてを確認できる画像をご用意ください。



◀ 障害者手帳イメージ

必要項目	受験者氏名
	障害名
	障害等級
	発行自治体
	交付日

【表面】



【裏面】

◀ カード型障害者手帳イメージ

※ カード型障害者手帳は両面の画像添付をお願いします。

※ 手帳の一部ページのみ添付では受付できません。アンダーラインの必要項目がすべて確認できる画像をご用意ください。

【診断書を添付する方へ】▶

【必須】 必要項目すべてを記載した診断書を提出してください。

- 指定の様式はありません。
- 受験上の配慮申請受付開始日から遡って1年以内に発行された診断書が有効書類となります。
  【例】受付期間が 2026年10月23日 ～ 12月7日の場合
  → 2025年10月23日以降に発行された書類が有効
- 申請内容により、追加資料の提出をお願いする場合があります。
- 発話への配慮を申請する際、言語聴覚士の意見書等を添付される方は、こちらの必要項目を参考のうえご作成ください。

作成	**医師**
必要項目	受験者氏名
	希望する配慮内容
	症状／配慮が必要な理由
	みなし障害等級　※該当する場合のみ等級を記載
	その他（持込器具・所見）※必要な場合のみ
	病院名
	医師名
	医師印 または 医師自筆署名
	発行年月日

【状況報告書を添付する方へ】▶

【必須】 必要項目すべてを記載した状況報告書を提出してください。

- 指定の様式はありません。
- 受験上の配慮申請受付開始日から遡って1年以内に発行された状況報告書が有効書類となります。
  【例】受付期間が 2026年10月23日 ～ 12月7日の場合
  → 2025年10月23日以降に発行された書類が有効
- 原則として、受験者が通学している教育機関で作成した状況報告書を有効とします。（※塾は不可）
- 保護者作成の状況報告書は受付できかねます。
- 申請内容により、追加資料の提出をお願いする場合があります。
- 学習状況は、具体的な課題や指導・支援状況を記載してください。

作成	**教育機関**
必要項目	受験者氏名
	希望する配慮内容
	症状／配慮が必要な理由
	学習状況 ・授業で具体的にどのように配慮をしているか ・定期考査で具体的にどのように配慮をしているか
	その他（持込器具・所見）※必要な場合のみ
	教育機関名
	教育機関校印 または 教育機関長印 または 教育機関長自筆署名
	発行年月日

受験上の配慮申請の手順について（1／10）

■ 受験上の配慮について　WEBページ ■
https://www.eiken.or.jp/eiken/apply2/specialneeds.html



WEBページ　https://www.eiken.or.jp/eiken/apply2/specialneeds.html　内の
「申請フォーム」バナーを選択すると、申請フォームに進みます。

- 各回次ごとに専用の受験上の配慮申請フォームを設けています。
- 受験上の配慮で受験をする場合は、申請フォームによる配慮申請が必要です。
- ダブル受験および同一検定回で同一級のお申し込み（重願）をする場合は、それぞれの級で受験上の配慮申請が必要です。
- 海外の会場で受験上の配慮受験をご希望の方は、必ず申込開始から2週間以内に問い合わせフォームよりご連絡をください。
- 受験上の配慮一覧表と入力例を確認し、障がいの状況を証明できる書類をご用意のうえ、ご申請ください。
- 必要項目の入力漏れや、添付資料がない場合は「入力内容を確認」ボタン押下後にエラーになります。エラー箇所が画面上部に赤字で明記されますのでご修正ください。
- 本人／保護者／申込責任者など、どなたから受験上の配慮申請をいただいてもかまいません。
  - 本人・保護者が受験上の配慮申請をする場合は、**申込責任者に受験上の配慮が必要である旨をお申し出いただき、**申請に必要な情報（団体番号 等）をご確認ください。
  - 一般受験者受け入れ団体で受験する場合は、団体責任者様に配慮受験対応の可否をご確認のうえ、申請してください。
  - 申込責任者が受験上の配慮申請をする場合は、**本人・保護者と希望する配慮内容を確認し、**申請に必要な書類を受領のうえ、間違いなく申請してください。

受験上の配慮申請の手順について（2／10）

団体申込 受験者情報入力例【1／4】

入力内容に応じて入力する項目が異なりますので、選択・入力は上から順にご入力ください。

受験者情報

英検申込種類【必須】

○個人申込　◉団体申込

→ 団体申込を選択してください。

団体番号【必須】

11111100　（半角８桁）

→ 団体番号を入力してください。
私費・公費の番号違いにご注意ください。（半角8桁）

団体名【必須】

英検高等学校　（全角２０文字以

→ 英検に登録してある団体名を入力してください。
（全角20文字以内）

● 準会場申込の場合 ●

一次試験申込会場種類【必須】

・受験上の配慮申請をした方の二次試験はA日程のみとなり、日程変更はできません。
・一次試験免除申請をされる方は、申込団体の申込会場種類をご選択ください。

○本会場申込　◉準会場申込

→ 準会場申込を選択してください。

※ 受験上の配慮申請をされた方の二次試験はA日程での受験となります。日程変更はできません。

準会場実施曜日【必須】

・一次試験準会場実施の受験上の配慮対応は、D日程・E日程・F日程となります。A日程・B日程・C日程の受験上の配慮対応はございません。
・準会場実施日は、1日程のみ選択可能です。
・二次試験のみ受験上の配慮が必要で、一次試験の配慮対応が不要な方は、一次試験実施日に制限はありません。
申請フォームの特記事項に「一次試験配慮不要のため一次試験をA日程（またはB日程・C日程）で実施」と入力し申請してください。

◉金曜日
○土曜日
○日曜日

金曜日実施日【必須】

金曜日を選択した場合、受験日を選択して下さい。
◉D日程　X月X日（金）

→ 希望する配慮が準会場実施日で対応できるかP.6をご確認のうえ申請してください。
※ **一次試験準会場実施の受験上の配慮対応は、D日程・E日程・F日程です。**（E日程は一部配慮のみ）
※ 複数日程での実施はできません。

ただし、発話への配慮など二次試験のみ受験上の配慮が必要で、一次試験の配慮対応が不要な方は、一次試験実施曜日に制限はありません。準会場実施曜日・実施日は任意で選択いただき、申請フォームの特記事項に「一次試験配慮不要のため一次試験をA日程（またはB日程・C日程）で実施」と入力し、申請してください。

■ 土曜日を選択した場合 ■

○金曜日
◉土曜日
○日曜日

土曜日実施日【必須】

土曜日を選択した場合、受験日を選択して下さい。
◉E日程：　X月X日（土）

■ 日曜日を選択した場合 ■

○金曜日
○土曜日
◉日曜日

日曜日実施日【必須】

日曜日を選択した場合、受験日を選択して下さい。
◉F日程　X月X日（日）

※ A日程・B日程・C日程に受験上の配慮対応はございません。

受験上の配慮申請の手順について（3／10）

団体申込 受験者情報入力例【2／4】

受験者情報

入力内容に応じて入力する項目が異なりますので、選択・入力は上から順にご入力ください。

● 本会場申込の場合 ●

一次試験申込会場種類【必須】

・受験上の配慮申請をした方の二次試験はA日程のみとなり、日程変更はできません。
・一次試験免除申請をされる方は、申込団体の申込会場種類をご選択ください。

◉本会場申込　○準会場申込

→ 本会場申込を選択してください。

受験級【必須】

3級

→ 受験する級を選択してください。

受験地番号【必須】

3102　（半角4桁）

※受験地番号がわからない場合、受験地番号一覧表（こちら）でご確認の上、ご入力ください
※受験上の配慮申請時と英検の申込時にご選択された受験地番号が一致していない場合は、英検の申込時に入力された受験地番号を正とします。

→ 受験地番号一覧表でご確認のうえご入力ください。
受験上の配慮申請内容により希望受験地と異なる会場を指定する場合があります。また、試験会場の指定はできかねます。
英検申込時に入力した受験地番号と受験上の配慮申請時に入力した受験地番号が異なる場合は、英検申込時に入力された番号を正とします。

英検ID【必須】

12345678901
（半角数字11桁）
※英検IDが不明な場合や英検IDを使用せずに申し込んだ場合は「99999999999」とご入力ください。

→ ※英検IDが不明な場合や英検IDを使用せずに申し込んだ場合は「99999999999」とご入力ください。

受験上の配慮申請の手順について（4／10）

団体申込 受験者情報入力例【3／4】

入力内容に応じて入力する項目が異なりますので、選択・入力は上から順にご入力ください。

受験者情報

受験級【必須】

3級

受験級を選択してください。

一次試験免除申請【必須】

・4級・5級を受験される方は下記の一次試験免除申請は「なし」をご選択ください。
・一次試験免除申請は受験上の配慮申請時と英検の申込時にそれぞれ必要となります。

○あり　◉なし

4級・5級を受験する方は「なし」を選択してください。

一次試験免除申請ありを選択した場合、続いて以下の情報を入力します。

● 一次試験免除申請ありの場合 ●

一次試験免除申請【必須】

・4級・5級を受験される方は下記の一次試験免除申請は「なし」をご選択ください。
・一次試験免除申請は受験上の配慮申請時と英検の申込時にそれぞれ必要となります。

◉あり　○なし

一次試験を合格した年度回【必須】

20XX年度第X回

一次試験を合格した年度回の個人番号

T123456　（半角7桁）

一次試験を合格した年度回の選択と合格した年度回の個人番号を必ず選択・入力してください。

※一次試験免除申請ありの場合、配慮内容の選択項目は二次試験の項目のみ表示されます。
※一次試験免除申請は、検定の申し込みの際にも必要です。

姓名（漢字）【必須】

姓　英検　　名　太郎

※全角18文字以内でご入力ください。
※英検の申込時と同じ姓名ををご入力ください。

英検申込時に入力した姓名と同じ姓名をご入力ください。
氏名が漢字表記でない場合は、カタカナでご入力ください。

姓名（カナ）【必須】

セイ　エイケン　　メイ　タロウ

※全角18文字以内でご入力ください。

各全角18文字以内でご入力ください。

生年月日【必須】

2002年　1月　13日

プルダウンから選択してください。

受験上の配慮申請の手順について（5／10）

団体申込 受験者情報入力例【 4 / 4 】

入力内容に応じて入力する項目が異なりますので、選択・入力は上から順にご入力ください。

受験者情報

メールアドレス【必須】

eiken-sekininsya@xx.xx.jp

eiken-sekininsya@xx.xx.jp （確認用）

※半角英数字でご入力ください。
※受付完了メールの送付先になりますので、お間違いないようにご入力ください。

受付完了メールの送付先になりますので、お間違いないようご入力ください。その際、受験上の配慮を申請した方が受付完了メールを確認できるメールアドレスをご入力ください。
確認用のメールアドレスは同じものをご入力ください。

電話番号【必須】

03 - 3266 - 0000

◉固定電話　○携帯電話

電話番号【任意】

- -

○固定電話　○携帯電話

協会からの問い合わせ（03-3266-6507）が必ず繋がる番号をご入力ください。

協会から問い合わせ連絡をすることがありますので、必ず連絡のとれる電話番号をご入力ください。

その他の電話番号は「電話番号【任意】」にご入力ください。

上記電話番号の問合せ先の種類【必須】

○本人　○保護者・その他　◉申込責任者

本人以外の電話番号を入力した場合、続いて問合せ先の詳細を入力していただきます。

本人／保護者／申込責任者など、どなたから受験上の配慮申請をいただいてもかまいません。

- 本人・保護者が受験上の配慮申請をする場合は、**申込責任者に受験上の配慮が必要である旨をお申し出いただき、**申請に必要な情報（団体番号 等）をご確認ください。
- 申込責任者が受験上の配慮申請をする場合は、**本人・保護者と希望する配慮内容を確認し、**申請に必要な書類を受領のうえ、間違いなく申請してください。

保護者または申込責任者の氏名

氏名（漢字）

姓 英語　名 教太郎

※姓名は各全角18文字以内でご入力ください。
※氏名が漢字表記ではない場合、カタカナでご入力ください。

氏名（カナ）

セイ エイゴ　メイ オシエタロウ

※姓名は各全角18文字以内でご入力ください。

本人以外の問合せ先電話番号を入力した方のみ、ご対応される方の氏名を入力してください。（任意）

受験上の配慮申請に続きます

受験上の配慮申請の手順について（6／10）

受験上の配慮申請 入力例【1／5】

選択するとその配慮に必要な内容が表示されます。ここでは聴覚を例とします。
上から順にご入力ください。

受験上の配慮種類の選択　【必須】

受験上の配慮を申請する種類を選択してください（複数選択可）

- □視覚
- ☑聴覚
- □肢体不自由
- □養護

→ 受験上の配慮を申請する種類を選択してください。

聴覚

聴覚障害等級　【必須】　2級

→ 障害者手帳に記載されている障害等級を選択してください。診断書でみなし等級が記載されている場合は、その等級を選択してください。
お持ちでない方・みなし等級が記載されていない方は、「その他（等級なしを含む）」を選択してください。

資料の添付について

●必ず「障がいの状況を証明できる書類について」（こちら）をご確認ください。申請に必要な書類や、診断書または状況報告書等の書き方について掲載しています。
●障害者手帳（カード型を含む）をお持ちの方は、障害者手帳の内容（氏名・障害名・障害等級・発行自治体・交付日）すべてがわかる画像データを必ず添付ください。
〈重要〉障害者手帳の画像データから障害等級・障害名が確認できない場合や、不鮮明な場合は再申請をしていただきます。
●障害者手帳をお持ちでない場合は、障がいの程度を証明できる診断書または状況報告書等を添付ください。

【障害者手帳を添付する方へ】▶
【必須】 必要項目すべてを確認できる画像をご用意ください。



必要項目
受給者氏名
障害名
障害等級
発行自治体
交付日



※ カード型障害者手帳は両面の画像添付をお願いします。
※ 手帳の一部ページのみ添付では受付できません。ソンダーラインの必要項目がすべて確認できる画像をご用意ください。

添付ファイルの種類　【必須】

- ☑障害者手帳（カード型を含む）
- □診断書
- □状況報告書
- □その他

→ 障がいの状況を確認できる添付書類の種類を選択してください。（複数選択可）
「その他」を選択した方は、特記事項に具体的な書類名を書いてください。

添付ファイル数　【必須】　1　（最大5つまで）

→ 画像データの枚数を選択してください。

ファイルの添付　【必須】　ファイルを選択　障害者手帳.jpg　（添付方法はこちらで確認）

→ 「ファイルを選択」を選択し、画像を添付します。
※ 必ずPDF/jpeg/PNG等の画像データ（5MB以内）を添付してください。
※ ファイルサイズまたは添付の数量の上限をこえる場合は、受験上の配慮係までお問い合わせください。
P.15・P.16に添付方法の詳細があります。

※アップロード可能なファイル種類は、PDF、JPG等です。
※Excel,Wordで編集可能なファイルは受付できません。
※各ファイルサイズは最大5MBです。

受験上の配慮申請の手順について（7／10）

受験上の配慮申請 入力例【2／5】

受験上の配慮申請時
ファイル添付方法 1／2

受験上の配慮申請

受験上の配慮種類の選択 【必須】

受験上の配慮を申請する種類を選択してください（複数選択可）

- □視覚
- □聴覚
- □肢体不自由
- □養護

添付ファイルの種類 【必須】

- ☑障害者手帳（カード型を含む）
- □診断書
- □状況報告書
- □その他

障がいの状況を確認できる添付書類の種類を選択してください（複数選択可）。「その他」を選択した方は、特記事項に具体的な書類名を書いてください。

添付ファイル数 【必須】

1 （最大5つまで）

画像データの枚数を選択してください。

ファイルの添付 【必須】

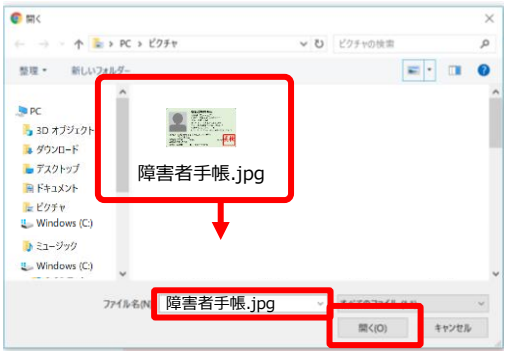
ファイルを選択 障害者手帳.jpg （添付方法はこちらで確認）

※アップロード可能なファイル種類は、PDF、JPG等です。
※Excel,Wordで編集可能なファイルは受付できません。
※各ファイルサイズは最大5MBです。

「ファイルを選択」を選択し、画像を添付します。

■ ファイルの添付方法 ■
以下【パソコン】【スマートフォン】をご参照ください。

【パソコン】



該当の画像データを選択すると、「ファイル名」に該当の画像データ名が表示されます。画像データ名が正しければ、「開く」を選択してください。

ファイルの添付 【必須】 ファイルを選択 障害者手帳.jpg

「ファイルを選択」の右側に選択した画像データ名が表示されます。
添付ファイルを上書きする場合も上記と同様の手順となります。

【スマートフォン】



「フォトライブラリ」から該当の画像を選択してください。
「写真またはビデオを撮る」で必要書類を撮影することも可能です。

ファイルの添付 【必須】

ファイルを選択 1枚の写真 （添付方法はこちらで確認）

「ファイルを選択」の右側に選択した画像が表示されます。
添付ファイルを上書きする場合も上記と同様の手順となります。

ファイルを選択 1枚の写真

受験上の配慮申請の手順について（8／10）

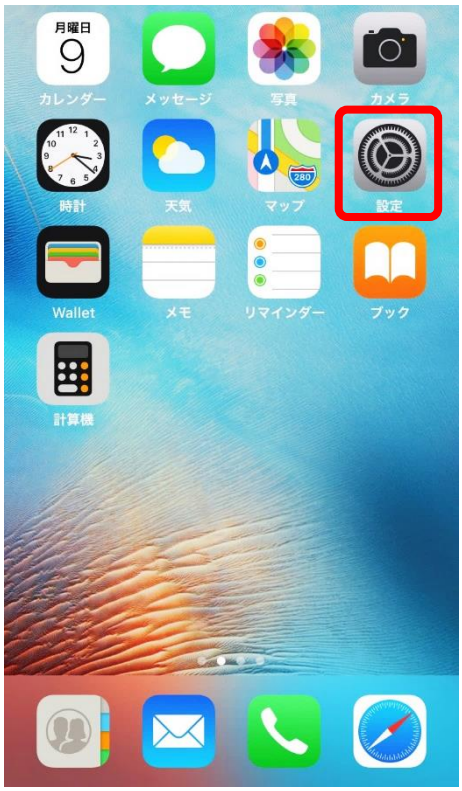
受験上の配慮申請 入力例【 3 / 5 】

受験上の配慮申請時
ファイル添付方法 2 / 2

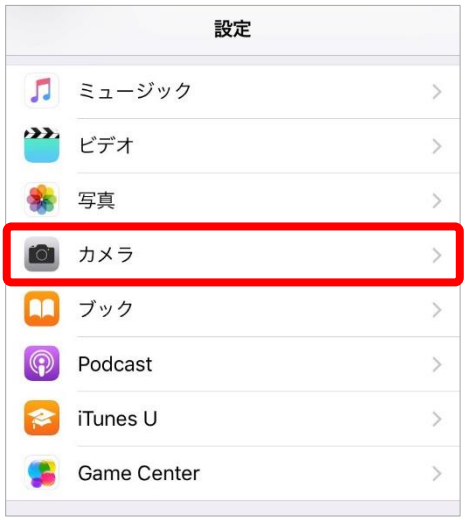
iPhoneでファイル添付ができない場合の手順

iPhoneをご利用の方で添付ファイルの拡張子が「～.heic」となっている場合、審査を行うことができないため、以下の方法で設定の変更をお願いします。
この操作により、添付ファイルの拡張子が「～.jpg」となり、審査を行うことができます。

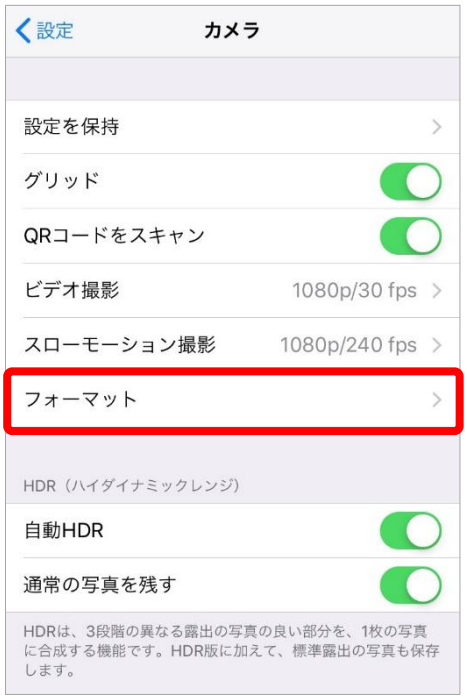
①「設定」を選択



②下へスクロールし、「カメラ」を選択



③「フォーマット」を選択



④「互換性優先」を選択



受験上の配慮申請の手順について（9／10）

受験上の配慮申請 入力例【4／5】

選択するとその配慮に必要な内容が表示されます。ここでは聴覚を例とします。

受験上の配慮申請

一次試験（RLW）　【必須】
- ◉テロップ
- ○強音放送
- ○座席配置

→ 一次試験の配慮内容を選択してください。

二次試験（S）　【必須】
- ◉筆談
- ○FC＋口話
- ○口話

→ 二次試験の配慮内容を選択してください。

二次試験（S）の音読実施方法　【必須】
- ○音読を口話で実施
- ◉音読を筆談で実施

※受験級で1級、準1級を選択した場合、音読実施方法は「音読を筆談で実施」のみとなります。

→ 二次試験で「筆談」を選択した方のみパッセージの音読の実施方法を選択してください。
※ 受験級で1級、準1級を選択した場合、音読実施方法は「音読を筆談で実施」のみとなります。

機器の持参使用
- □補聴器
- ☑ロジャーマイク・マイク付き補聴器　※
- □人工内耳

※マイク付き補聴器には、ワイヤレスマイク補聴器・FM型補聴器を含みます

→ 機器の持参使用がある場合は選択してください。（任意）

特記事項
（100文字以内）

・右耳失聴

全角100文字以内
※箇条書き等でわかりやすくご入力ください。
※特記事項がない場合は入力は不要です。
※実施責任者に申し伝えたい事項・選択項目にない持参使用物に関しては必ず特記事項にご入力ください。

提出書類に記載があっても、特記事項に記載がない配慮は対応できかねます。
予めご了承ください。

※電話対応が難しい場合は特記事項に「電話対応不可」とご入力ください。
必要に応じて受験上の配慮申請時にご入力いただいたメールアドレス宛にご連絡差し上げます。

→ 特記事項を全角100文字以内で記入してください。

<u>診断書・状況報告書等に記載がある場合でも、特記事項欄に記載がない内容については対応いたしかねます。</u>
<u>配慮に関する重要事項は、必ず特記事項欄へご記入ください。</u>
<u>※会場設備の状況や添付書類の内容等により、ご希望に沿えない場合があります。</u>

例：
・実施責任者に申し伝えたい事項
（右耳失聴　など）
・選択項目にない持参使用物
（電動車いすで来場　など）

その他

☑介助者の同伴（試験中は除く）

→ 介助者が同伴する場合は選択してください。

入力内容を確認

→ 入力が完了したら「入力内容を確認」を選択してください。

■ ご注意 ■

英検 後援：文部科学省

実用英語技能検定　受験上の配慮申請フォーム
＜20XX年度第X回英検（従来型）＞

「受験地番号」を入力してください。
「電話番号（必須）の種別」を選択してください。
「(1)ファイルの添付（聴覚）」にファイルを指定してください。

▲ エラー表示例

入力必須項目に空欄や不備がある場合は、赤字で申請フォーム画面上部に不備内容が表示されます。
該当部分を正しい内容に訂正し、再度「入力内容を確認」を選択してください。

受験上の配慮申請の手順について（10／10）

受験上の配慮申請 入力例【 5 / 5 】

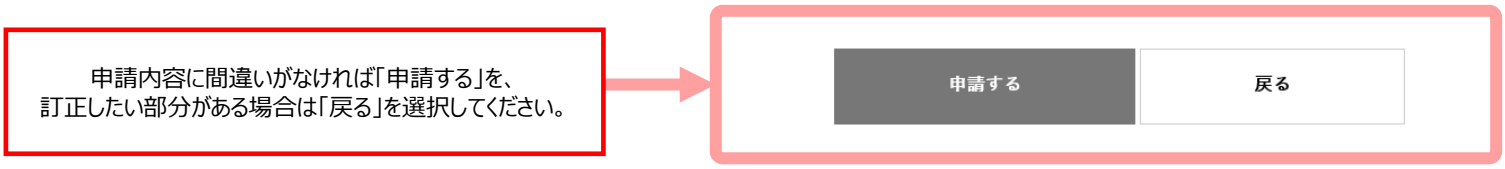
全ての内容を正しくご記入いただくと、以下の画面に切り替わります。

以下の申請内容に間違いがないことを確認し、申請します。

検定種別	英検（従来型）
年度	20XX
回	X
申込種類【必須】	団体申込
団体番号【必須】	11111100
団体名【必須】	英検高等学校
一次試験申込会場種類【必須】	準会場申込
準会場実施曜日【必須】	金曜日
金曜日実施日【必須】	D日程:X月X日（金）
土曜日実施日【必須】	
日曜日実施日【必須】	
受験級【必須】	3級
英検ID【必須】	
一次試験免除申請【必須】	なし
姓名（漢字）【必須】	英検 太郎
姓名（カナ）【必須】	エイケン タロウ
生年月日【必須】	2002年01月13日
メールアドレス【必須】	eiken-taro@xxx.xx.jp
電話番号【必須】	03-3266-0000
	固定電話
上記電話番号の問合せ先の種類【必須】	申込責任者
氏名（漢字）	英語 教太郎
氏名（カナ）	エイゴ オシエタロウ

受験上の配慮を申請する種類を選択してください（複数選択可）	聴覚
聴覚障害等級 【必須】	2級
添付ファイルの種類 【必須】	障害者手帳（カード型を含む）
添付ファイル数 【必須】	1
ファイルの添付 【必須】	障害者手帳.jpg
一次試験（RLW） 【必須】	テロップ
二次試験（S） 【必須】	筆談
二次試験（S）の音読実施方法 【必須】	音読を筆談で実施
機器の持参使用	ロジャーマイク・マイク付き補聴器
特記事項 （100文字以内）	・右耳失聴 介助者の同伴（試験中は除く）

申請内容に間違いがなければ「申請する」を、
訂正したい部分がある場合は「戻る」を選択してください。



「申請する」を選択すると、以下の画面に切り替わり、受験上の配慮申請が完了となります。

英検
後援：文部科学省

実用英語技能検定　受験上の配慮申請フォーム

＜20XX年度第X回英検（従来型）＞

「受験上の配慮申請フォーム」による申請を受け付けました。

申請された内容はメールでもお送りいたします。
ダブル受験および同一検定回で同一級のお申し込み（重願）をする場合は、それぞれ配慮申請が必要です。
検定のお申し込みがまだお済みでない方は、申込受付期間内に必ずお手続きをしてください。
検定のお申し込みが確認できない場合、受験できないのでご注意ください。

申請内容に不備がある場合、協会よりご連絡をいたします。
ご不明点がある場合、下記までお問い合わせください。

受験上の配慮係
TEL：03-3266-6507
※平日 9:30～17:00（土・日・祝日を除く）

※受験上の配慮申請後、ご提出いただいた内容を記載した自動送信メールが届かなかった場合は、以下のサイトをご確認ください。
英検からのメールが届かない場合：https://www.eiken.or.jp/eiken/info/mailfaq.html
なお、メールの再送はできかねます。申請状況について確認されたい場合は、申請日の翌営業日以降に受験上の配慮係までお問い合わせください。